

19歳「五輪、W杯めざす」

マウンテンバイク(MTB)の第34回全日本自転車選手権で、高専八代5年の森下尚仁(菊陽町)が初優勝を飾った。競技再開から2年足らずで国内最高峰の大会を制覇した19歳は「オリンピックやワールドカップを目指したい」と大きな目標を掲げる。

大会は6、7日に千葉市の千葉公園で開催。森下は起伏やジャンプ台のあるオフロードコースで順位を競うクロスカンントリー・エリミネーター(XCE)部門の最高カテゴリー「男子エリート」に出場した。

4人で競った決勝はスタートで出遅れたものの、巧みなコーナリングでインを突いて先頭へ。18.4秒の長身を生かしたダイナミックなこぎで、僅差の勝負を制した。「準決勝進出が目標だったので負いなく積極的に攻められた」と振り返る。

7歳ごろから競技を始め、菊陽西小6年時に全国大会で3位に入った。中学から陸上長距離も始め、高専八代に入学後は陸上に専念。3年生で引退し、「自転車なら上を目指せる」と昨春から再びMTBに挑んだ。今年は大大会で次々と優勝し、とんとん拍子で最高カテゴリーまで上がった。

MTB 森下(高専八代)

国内最高峰大会で優勝



部活動やクラブに属さず、普段は個人で練習している。阿蘇方面の山道で脚力を鍛え、御船町や山鹿市のコースで技術を磨く。学業でパソコンと向き合う時間が長いだけに「風を切ったり鳥の声を聞いたり、自然の中でリフレッシュできる」とMTBの魅力

を語る。来春からは大手メーカーに就職し、自転車の生産に携わる予定だ。「軽くて速い、ワクワクする自転車をつくりたい。競技では世界で戦えるようにレベルアップしていく」と張り切っている。

(河北英之)

全日本自転車選手権のマウンテンバイクXCE部門を制した森下尚仁(高専八代)。普段は阿蘇方面の山道で鍛えている
|| 西原村